

報 道 発 表 資 料
平 成 19 年 4 月 11 日
和歌山、紀南河川国道事務所
和歌山、奈良、津地方气象台
和 歌 山 県 県 土 整 備 部

洪水予報の発表形式を改善します

平成19年4月19日から、和歌山及び紀南河川国道事務所並びに和歌山県と和歌山、奈良及び津地方气象台が発表する洪水予報において、洪水の危険のレベルを5段階に設定するとともに、市町村や住民がとるべき避難行動等との関連がわかりやすいように洪水予報を改善します。

和歌山及び紀南河川国道事務所並びに和歌山県と和歌山、奈良及び津地方气象台は、洪水予報を行う河川とその区間を指定し、洪水のおそれがある場合に共同で洪水予報を発表しています。

洪水等が発生した際、地域住民のよりの確で安全な避難実施のためには、河川の危険の状況等の防災情報が、迅速に伝達されるだけでなく、受け手である住民や伝達者である市町村の防災担当者、報道機関に正確に理解され、的確な判断や安全な行動につながる情報の内容や表現であることが極めて重要です。

このため、国土交通省河川局及び気象庁では、「洪水等に関する防災用語改善検討会」を設置し検討を行ってきましたが、昨年6月に検討委員会の提言が「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」としてとりまとめられ、これに基づき、「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」（平成18年10月1日国河情第3号河川局長通知）を定め、洪水予報の発表形式を改善することとしました。

今回の改善の主なポイントは以下のとおりです。【参考1～4参照】

1. 市町村や住民がとるべき避難行動等との関連が理解しやすいように、洪水予報の標題と水位の名称を洪水の危険に応じてレベル化します。危険レベル毎の標題とそれに対応する水位等は以下のとおりです。(参考1)

レベル5	標題：はん濫発生情報	状態	：はん濫発生
レベル4	標題：はん濫危険情報	水位名称	：はん濫危険水位
レベル3	標題：はん濫警戒情報	水位名称	：避難判断水位
レベル2	標題：はん濫注意情報	水位名称	：はん濫注意水位
レベル1	(発表はしない)	水位名称	：水防団待機水位

2. 洪水予報の内容を理解しやすくするため、発表内容を要約した見出し文(40文字以内)を新たに付けます。

今回の改善は、和歌山、紀南河川国道事務所及び和歌山、奈良、津地方気象台が共同で発表する紀の川、熊野川を対象とする洪水予報については、平成19年4月19日から実施します。

和歌山県及び和歌山地方気象台が共同で発表する有田川、日高川の洪水予報についても、4月19日から、避難行動等との関連が理解しやすいように洪水予報の名称を変更し、5段階の危険度レベルに改善します。また、今年の出水期を目標に洪水予報の充実を図っていきます。

問 い 合 わ せ 先	
和歌山河川国道事務所調査第一課	渡邊 俊夫(代表 073(402)0265 内351)
紀南河川国道事務所調査第一課	松江 庸介(代表 0739(22)4564 内351)
和歌山地方気象台防災業務課	芝本 章宏(代表 073(422)5348)
奈良地方気象台防災業務課	川端 徳人(代表 0742(22)2556)
津地方気象台防災業務課	岡田 義浩(代表 059(228)6818)
和歌山県県土整備部河川・下水道局河川課	濱田 公夫(073(441)3132 直通)

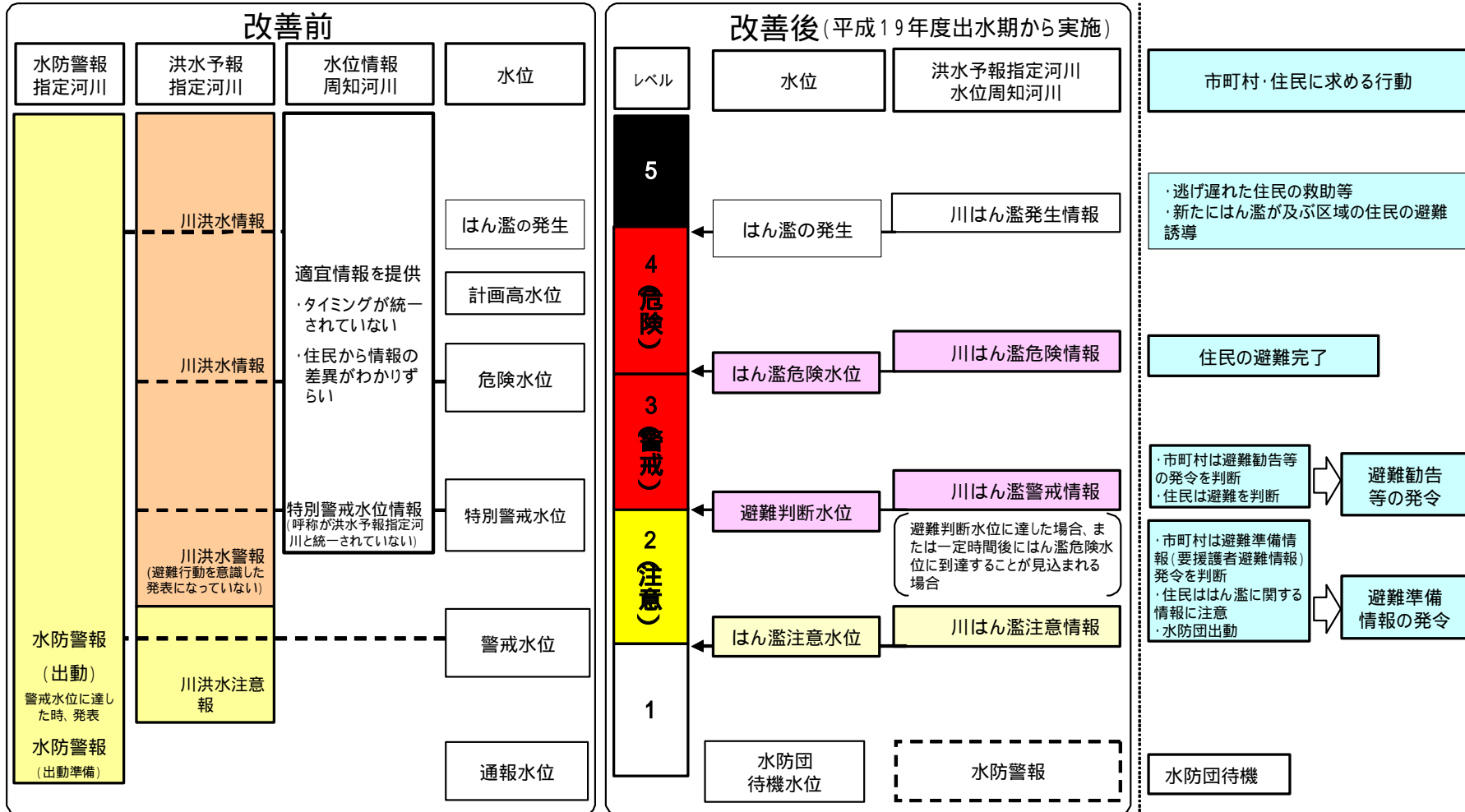
【参考 1】 洪水の危険のレベルに対応した改善点

旧		新			
洪水予報の 標題	水位の名称	洪水の 危険の レベル	洪水予報 の標題	水位の名称	市町村・住民に 求める行動等
洪水警報	危険水位	レベル5	はん濫発生情報	(はん濫発生)	逃げ遅れた住民の救助等 新たにはん濫が及ぶ区域の住 民の避難誘導
		レベル4	はん濫危険情報	はん濫危険水位	住民の避難完了
		レベル3	はん濫警戒情報	避難判断水位	市町村は避難勧告等の発令を 判断 住民は避難を判断
洪水注意報	警戒水位	レベル2	はん濫注意情報	はん濫注意水位	市町村は避難準備情報(要援 護者避難情報)発令を判断 住民ははん濫に関する情報に 注意 水防団出動
(発表無し)	通報水位 (指定水位)	レベル1	(発表無し)	水防団待機水位	水防団待機

洪水等に関する防災情報体系の見直しの概要

大河川、中小河川を問わず発表する防災情報とそれに対応する水位を統一
発表情報と避難行動等との関連を明確化
水位名称を受け手のとるべき行動や危険度レベルがわかるものに改善

詳しくは、平成18年6月22日発表報道発表資料「洪水等に関する防災情報体系のあり方について」の提言についてを参照願います。
http://www.jma.go.jp/jma/press/0606/22a/kouzui_yougo_houkoku.htmlまたは
http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/05/050622_2_.html



橋脚や量水標に危険レベルがわかるよう全国統一したカラー表示

国土交通省と気象庁が共同で実施する洪水予報文の改善点

現行

変更後

S川洪水予報 第 号
平成 年 月 日 19時3分
河川事務所・気象台 共同発表

【種類】
S川洪水注意報発表

【主文】
S川のN市M地区S水位観測所では、警戒水位を超える出水となる見込みですので、各地とも十分な注意をしてください。

【現況文】
停滞前線と台風 号による降り始めの11日2時から11日19時までの、S川流域の流域平均雨量は、167ミリに達しました。S川の水位は11日19時現在、次のとおりになっています。
・S水位観測所(N市M区N)で3.5m程度(上昇中)

【予想文】
この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域平均雨量は、170ミリの見込みです。
S川の水位は、11日22時には次のように見込まれます。
S水位観測所(N市M区N)で4.8m程度

【参考資料】
S水位観測所〔N市M区N〕
堤防高 8 . 4 m、危険水位 5 . 5 m、警戒水位 4 . 6 m、
平常水位 1 . 2 6 m

新規

洪水の危険度に応じて5段階表示

S川はん濫注意情報

S川洪水予報 第 号
洪水注意報(発表)
平成 年 月 日 20時30分
河川事務所・気象台 共同発表

S川はん濫注意水位に到達 水位はさらに上昇するおそれ

【主文】
S川が増水し、はん濫注意水位(レベル2)に達しました。水位はさらに上昇する見込みです。 ~ 地区では身のまわりの備えをすることも、洪水予報に注意してください。

【降雨と水位の現況】
停滞前線と台風 号による降り始めの11日2時から11日19時までの、S川流域の流域平均雨量は、167ミリに達しました。S川の水位は11日19時現在、次のとおりになっています。
・S水位観測所(N市M区N)で4.6m(水位危険度レベル2)
(1時間に25cmの速さで上昇中)

【降雨と水位の予想】
この雨は、今後一層強まるでしょう。11日19時から22時までのS川流域の流域平均雨量は、170ミリの見込みです。
S川の水位は上昇傾向にあり、22時頃には、次のとおりと見込まれます。
・S水位観測所(N市M区N)で4.8m程度(水位危険度レベル2)

【参考】
S水位観測所
受け持ち区間 A県B市からA県C町(左岸) B県B市からB県C町(右岸)
はん濫危険水位5.5m、避難判断水位5.0m、はん濫注意水位(警戒水位)4.6m
水防団待機水位 . m、平常水位1.26m
水位危険度レベル
レベル5 はん濫の発生
レベル4 はん濫危険水位超過
レベル3 避難判断水位超過
レベル2 はん濫注意水位(警戒水位)超過
レベル1 水防団待機水位超過

新規

情報の見出し

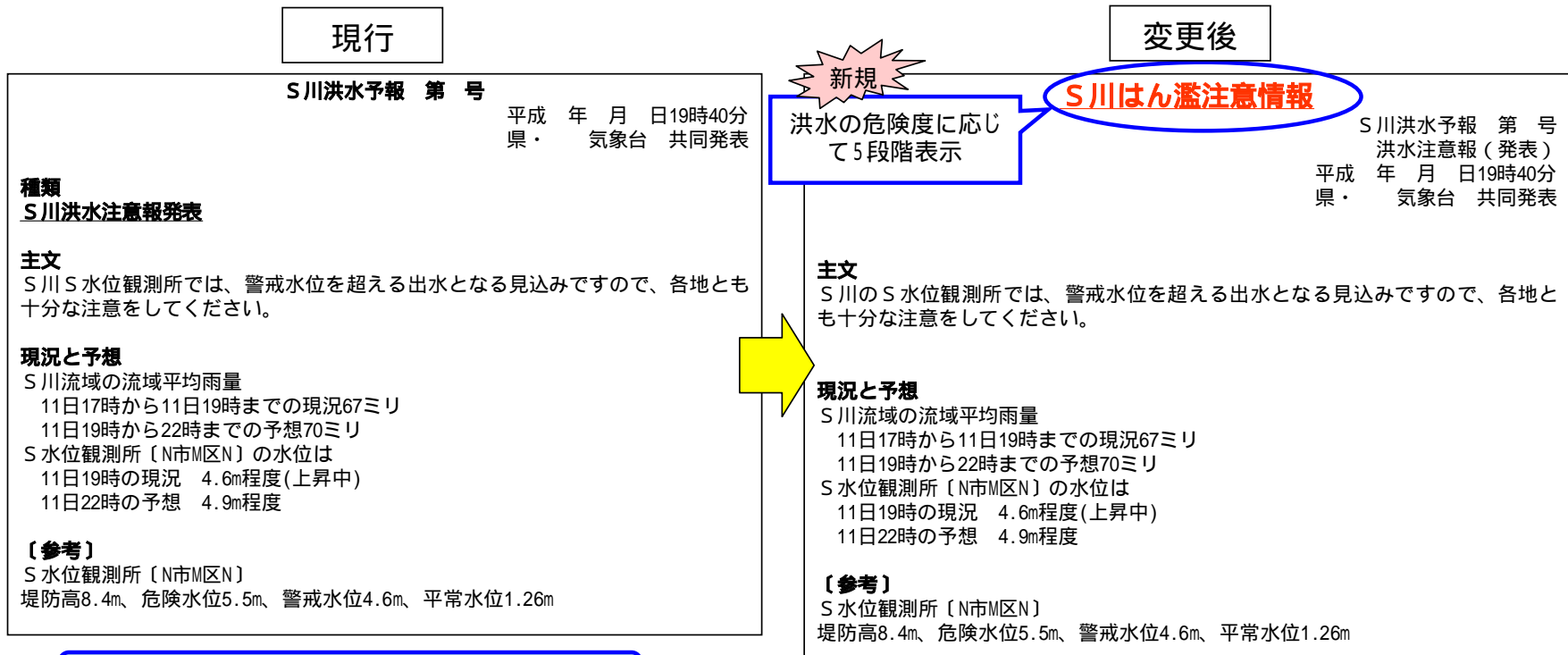
新規

水位レベルの記述

- <変更のポイント>**
- ・とるべき行動との関連が理解されやすいように
 標題と水位をレベル化
 - ・洪水予報の内容が理解されやすいよう情報の見出しを付加
 - ・その他用語の変更(赤字)

新規

和歌山県と気象台が共同で実施する洪水予報文の改善点



<変更のポイント>

- ・洪水の危険度を5段階に設定し、住民に対してきめ細かい情報提供を行う。

今年の出水期までに、情報の受け手である住民の方々の的確な判断や行動につながるよう
洪水予報文の内容の充実を図っていきます。